

市民ワークショップの開催記録について

議題：藁科地域小中一貫校整備事業における基本設計案について

参加人数：10人

ご意見		回答
【ハード面】		
1	校舎は木造ということだが、木と鋼のハイブリッドが良いのではないか。	藁科地域の風土や周辺環境との調和を図り、児童生徒をはじめ、地域住民が木のぬくもりを感じられ、長きに渡り愛着を持てるように、地域材であるオクシズ材を活用した木造校舎を計画しています。また、オクシズ材を活用することで、森林資源の循環など環境や地場産業に係る地域経済について学ぶことができる学習環境を提供できると考えています。
2	メンテナンスにお金がかからないようにしてほしい。	維持管理の容易性を考慮し、ライフサイクルコスト（生涯費用）に優れた校舎になるよう設計を進めています。
3	防犯カメラ等セキュリティ面は考慮されているのか。	職員室や事務室といった主要な部屋については機械警備を設置するとともに、校門や昇降口付近には防犯カメラの設置を検討しています。
4	土手にあがれる場所はあるのか。	セキュリティの観点から土手にあがれる場所は作らないこととします。
5	トイレの数やオストメイトの設置について教えてほしい。	トイレの数については、公益社団法人空気調和・衛生工学会の算定方式を採用し、待ち時間の最も少ないサービスレベル1を満たすトイレ数を設置します。また、オストメイトについては、各フロアの多目的トイレに設置します。
6	特別支援学級用のトイレはあるか。	特別支援学級用のトイレはありません。1、2年生及び特別支援学級に通う児童生徒が共用で使用するトイレ配置となっております。そこには、多目的トイレも設置しますので、介助が必要な児童生徒はそのトイレを使用することを想定しております。
7	吹き抜けからの音がうるさくないか。 廊下に壁がなくてうるさくないか。	クラスの垣根を越えた学習や異学年での共同学習活動を行う「協働的な学び」の推進に向けた教室環境・教室周辺の空間環境を整備し、多様な他者の立場や考えを理解し尊重する人間性を向上させることを目標としています。
8	階段や吹き抜けから落ちないか。	手すりの高さ、形状については十分に検討し、安全な設計とします。
9	生徒が増えた場合、増えすぎた場合どうするのか。	生徒数については、推移を考慮し将来にわたり教室数が足りなくなることはないように設計していますが、増えすぎた場合はWS等を教室にするなどして対応していきます。
10	部屋、教室の広さがどのくらいか。	一辺が7.28mの正方形で、約53㎡です。
11	放送室はみんなが通る場所が良いのではないか。	「グラウンドが見えるようにしたい。」という意見から、2階の大階段南東側に配置しました。

12	ソーラーパネルは設置するのか。	設置の予定はありません。太陽光発電設備が必要となった場合に備え、屋根の耐荷重については設置が可能なように検討しています。
13	避難所に変更はあるか。	今後、学校及び防災関係課と調整し、避難所の設置個所について調整していきます。
14	バリアフリー、車イス、ベビーカー、車イス用の水道、スロープの設置予定状況を教えてほしい。	エレベーターの設置、各フロアに多目的トイレの設置等誰にとっても利用しやすい校舎となるように検討しています。
15	特別支援学級が職員室から遠くて良いか。	職員室と同フロアに配置し、職員が立ち寄りやすい計画としています。また、特別支援学級には内線電話を設置し、職員間での連絡が可能としています。
16	図書に学習スペースあるか。	イスや机を設置するとともに、2階にはグラウンドを見渡ししながら学習等が行えるカウンターを設置予定です。
17	デンに人が閉じ込められないか心配。	デンには扉を設けず、閉じ込められることがないようにします。
18	特別支援学級に外スロープあるか。	特別支援学級用のスロープを設置する予定はありません。学校全体でバリアフリーに配慮した施設になるように設計を進めています。
19	テニスコートがないのか。	令和9年9月より、「部活動」から「（仮称）しずおか地域クラブ活動」への転換を予定しており、学校施設としてテニスコートがなくてはならないものではないことから、設置しない予定です。
20	花壇はあるのか。	自然を感じられるよう、花壇は設置する予定です。
21	空調、受水槽は屋上にあるのか。	勾配屋根を採用するため、屋上には設置しません。空調室外機は校舎周り、受水槽は敷地北西部に設置予定です。
22	保健室は1つで大丈夫か。	児童生徒数を勘案し、1つとしています。
23	体育館のアクセス・雨よけはあるのか。	屋根付きの渡り廊下を計画しています。
【外構】		
24	芝生のグラウンドが広くないか。維持管理のスキームを作ってほしい。	グラウンドは8人制サッカーコート及び200mトラックが確保できる大きさとしています。 藁科中学校のグラウンドは芝生祭が行われているなど、地元から愛着を持たれているものだと考えており、維持管理については、引き続きご理解ご協力をお願いします。
25	わらしな広場は、芝ではなくゴムのようなやわらかい、（公園にあるような、排水しやすい）素材が良い。	わらしな広場については、安全面やメンテナンス面も考慮します。
26	暑さを防ぐ、こかげはあるのか。	校舎や体育器具庫の軒を深く設計し、日影をつくる計画としています。
27	わらしな広場で遊んでいて車とぶつからないか。	わらしな広場・歩道と車道を分ける工夫をし、児童生徒が安全に学校生活を送れるように外構計画を進めています。

28	放課後子ども教室の支援員さんがこどもが遊具とわらしな広場と別れるのが大変でないか。	放課後子ども教室の位置については、お迎えのしやすさを考慮し、遊具とは離れてしまいましたが正門に近い地域交流室での運営を想定しています。
29	すべりだいはないのか。	設置する遊具については、安全性を考慮し選定します。
【ソフト面】		
30	一般の人がどう利用するのか。	体育館やグラウンドの他、地域交流室についても施設利用があると考えています。
31	地域交流室の具体的な使い方を教えてほしい。	学校施設として整備するため、学校主体での使用を想定しています。
32	PTAの役員会はどのようなになるのか。	統合後のPTAの運営方法については、現時点では決まっていません。今後、両校のPTAを中心に、統合後の役員会や運営の在り方について検討を進めていきます。
33	部活はなくなるのか。	中学校の部活動は、静岡市立全中学校において、令和9年8月末をもって終了します。その後、同年9月からは「（仮称）しずおか地域クラブ活動」として、地域クラブへ転換する計画です。
34	先生たちにも藁科を知って好きになってくれるようなカリキュラムにしてほしい。	現在、中藁科小学校や藁科中学校では「わらしなプラン」を通じて、児童生徒とともに地域の自然・文化・歴史を学ぶ活動や、地域行事への参加、地域の方との交流を行っています。また、夏季休業中の研修などで教員が学区を探訪し、藁科の良さを体感することなども行っています。統合後も、教職員自身が藁科の魅力を知り、好きになり、子どもたちと共に地域を大切に作る心を育む学校づくりを進めていきます。
35	外部から生徒をとるのか。	統合後も、現在の通学区域の変更は予定していません。一方で、通学区域外から児童生徒が通学できるようにする制度の適用については、現在検討を進めているところです。今後、開校準備委員会等での協議内容を整理し、地域の皆様にも順次共有していきます。
【感想】		
36	給食はみんなで食べるのか。	多目的室は、多くの児童生徒と一緒に給食を食べる等様々な用途で使用することを想定しています。
37	みんなでランチは楽しいであろう。	左記のような児童生徒目線、保護者目線での意見もいただきました。 児童生徒がワクワクでき、保護者の方たちが通わせたいような学校を目指しています。
38	いろんな体験をさせてほしい。	
39	木造なんてステキ、カッコいい校舎に通わせたい。	
40	自然を学んでほしい。	